

## 宮城県 大崎市民病院 様

### 導入システム 順番案内表示システム(スタンドアロン型)



## Introduction

平成18年の1市6町の合併により、4病院1診療所としてスタートした大崎市民病院事業は、この度、2年1か月の建設期間を経て、平成26年3月末に新しい大崎市民病院を竣工し、平成26年7月1日、外来診療を開始してグランドオープンした市民病院は、大崎・栗原医療圏約30万人の生命を預かる基幹病院として新たなスタートを切りました。

当院は、県北唯一の救命救急センターを併設するとともに、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院等の機能を担っております。

## Solution

新病院建設にあたり患者様にわかりやすく案内ができ、病院側もフレキシブルに対応できるシステムを採用いただきました。

各診察ブロックで受け付けた基本票のバーコードを読み込み、各診察室の順番割り振り、呼び込み端末では電子カルテとは連携せずに、スタッフの判断により診察順番を決め呼び込みができるシンプル且つ、フレキシブルに操作ができるシステムを構築し納入させていただきました。



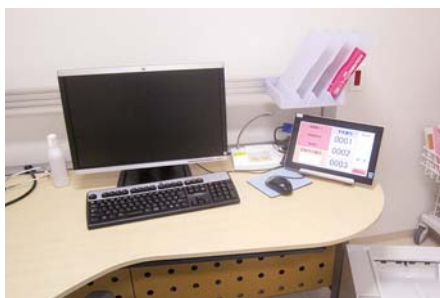
診察室前表示 21インチモニター



診察室前待合風景



各ブロック受付の診察状況42インチ



医師デスク上の12インチタブレット操作端末



基本的には医師はNEXTを押すだけ



レストランスペースでも診察状況がわかる42インチモニターを設置